

1	<b>正負の数：正負の数 符号のついた数、 数の大小</b>	年 組 番  名前	/ 24問
---	--	-----------------	-------

知 ①符号のついた数

+3 や +5 のような数を正の数といい、-2 や -0.5 のように  の符号のついた数を  という。

温度が0℃より10℃高いときは、+10℃と表す。0℃より10℃低いときは ℃と表し、「10℃」と読む。

整数には、正の整数、0、があり、正の整数を ともいう。

②数の大小

数直線の右の方向を といい、数直線上で右にある数ほど といえる。また、数直線上で、ある数に対応する点と原点との距離をその数の という。

図 1 次の数量を、+、- の符号のついた数で表しなさい。

(1) ある山の標高(海面からの高さ)は2568mです。この山の標高を基準として、高い場合を+、低い場合を-で表すことにしました。このときのA山(標高2077m)の高さ。  
( )m

(2) 学校の正門から北へ100m移動することを+100mと表すとき、学校の正門から南へ200m移動すること。  
( )m

(3) 海面から5mの高さを+5mと表すとき、海面から2mの深さ。  
( )m

- 図 2 右の表は、あるレストランで新メニューの<sup>はんばい</sup>販売を始めてから4日間の、新メニューの販売数です。1日目の販売数を基準にしたとき、2日目～4日目の販売数を、多い場合は正の数、少ない場合は負の数で表しなさい。

日	1日目	2日目	3日目	4日目
販売数	63	59	76	61

2日目( )

3日目( )

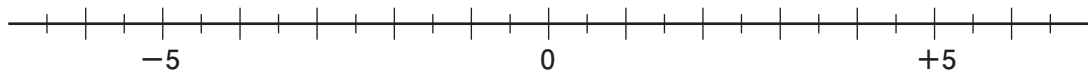
4日目( )

- 図 3 下の数直線上に、次の数に対応する点を表しなさい。

① +2

② -6

③ -1



- 図 4 次の各組の数の大小を、<sup>ふとうごう</sup>不等号を使って表しなさい。

① 0, +1

② +2, -2

( )

( )

③ -0.5, -2, +1

④ -3, -5, -7

( )

( )

- 図 5 次の数の<sup>ぜったいち</sup>絶対値を答えなさい。

① +1.5

② -1.5

( )

( )